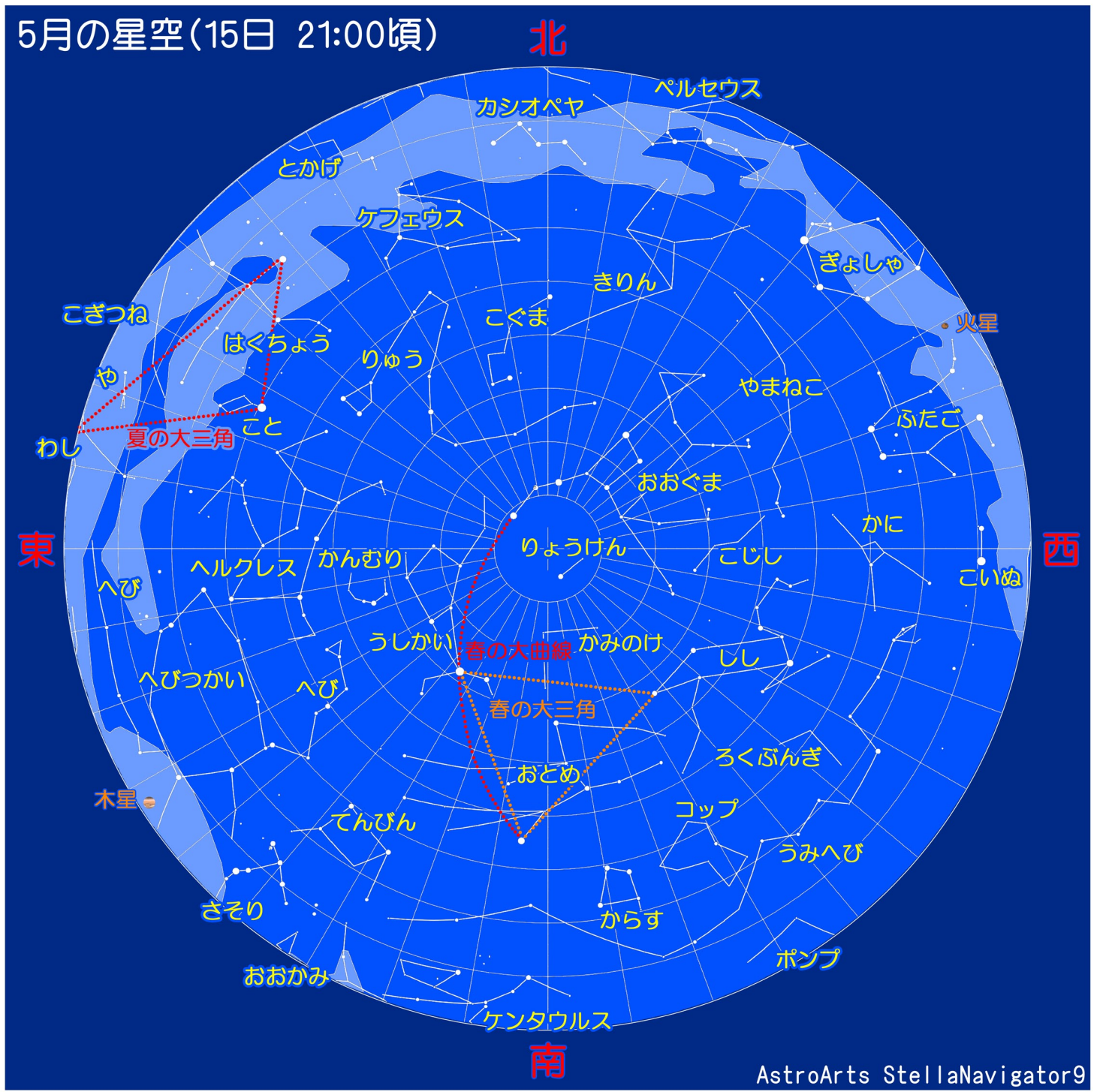


銀河の森天文台
2019年5月みどころ天体情報



今日のイチオシ！

★M87(銀河)

おとめ座に位置する巨大な楕円銀河で、りくり望遠鏡では丸いぼんやりした光芒として見る事ができます。史上初の撮影に成功し大きなニュースとなったブラックホールは、この銀河の中心部分にあるものです。このブラックホールからジェットが噴出していることが観測されていますが、それを望遠鏡で見るとは難しいようです。



M87

距離：約5500万光年

月

出 没

5日 ● 新月 04:37 18:43

12日 ● 上弦 10:37 00:37

19日 ● 満月 19:01 04:22

27日 ● 下弦 00:31 11:17

天文台から月を見ることが出来るのは7～19日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

M3(球状星団)

明るい見事な球状星団でうしかい座のアルクトゥールスとりょうけん座のコル・カロリの間あたりに位置しています。密集度が高いために、双眼鏡では恒星と区別が付きにくいかもしれません。

距離：約3万3900光年

M13(球状星団)

北天で最も明るい球状星団で、位置さえ知っていれば双眼鏡でも簡単に見つけることができます。望遠鏡では、中心部まで星が密集した見事な姿を観察することができます。

距離：約2万5100光年

M51(銀河)

銀河の渦巻の腕の先に小さな銀河(NGC5195)を伴っていることから、子持ち銀河という愛称で呼ばれています。月明りのない夜には2つの銀河が実際につながっている様子を見ることができます。

距離：約2100万光年

M104(銀河)

形がソンブレロ帽子に似ていることから「ソンブレロ銀河」と呼ばれています。これまでは渦巻銀河を横から見たものと考えられていましたが、近年の観測から円盤状の構造を持つ楕円銀河であると考えられています。

距離：約4600万光年

コル・カロリ(重星)

りょうけん座を形作る2つの星のうち、明るい方がコル・カロリです。春のダイヤモンドの一番北に位置する星でもあります。

白色の2.9等星のそばに薄紫色の5.5等星が寄り添った美しい二重星です。

距離：約120光年

アルクトゥールス(恒星)

全天で4番目に明るい恒星で、北斗七星から春の大曲線を辿ると、明るくオレンジ色に輝いているのすぐに見つけることができます。望遠鏡ではオレンジよりもやや明るめに、黄金色に輝く姿が印象的です。

距離：約37光年

ちょっとマニア

・M53(球状星団)

なかなか立派な球状星団なのですが、同じ時期にM3が見えることから、ついつい見る機会が少なくなってしまうので、せっかくなので、M53も見てみましょう。

距離：約5万8000光年

その他おすすめ

- ・M5(球状星団)
- ・M82(銀河)
- ・M97(惑星状星雲)
- ・Mel111(散開星団)
- ・アルギエバ(重星)
- ・ラスアルゲティ(重星)
- ・プルケリマ(重星)

5・6月の銀河の森天文台カレンダー

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24	25	26	27	28	29

開館時間

14:00～22:30
(4月～9月)

13:00～21:30
(10月～3月)

休館日